

# 中国株ウィークリーレポート

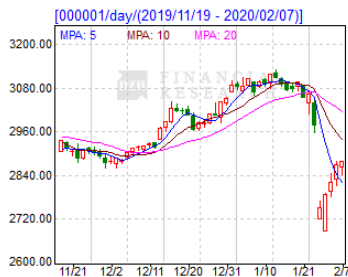
2020/2/10

## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	29,102.51	-277.26	-0.94	3.00	1.98	28,538.44
NASDAQ	9,520.51	-51.64	-0.54	4.04	6.11	8,972.60
日経225	23,827.98	-45.61	-0.19	2.68	0.72	23,656.62
上海総合	2,875.96	9.45	0.33	-3.38	-5.71	3,050.12
滬深300 (CSI300)	3,899.87	0.09	0.00	-2.60	-4.80	4,096.58
ハンセン	27,404.27	-89.43	-0.33	4.15	-2.79	28,189.75
中国企業	10,705.17	-59.17	-0.55	4.54	-4.14	11,168.06

## 【株式概況】

### 先週の動き: ハンセン指数は4.1%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は3.4%安

香港市場ではハンセン指数が週間で4.1%高と3週ぶりに反発した。前週までの大幅下落を受けて週初から買い戻しが先行。新型肺炎を巡る悪材料が多く伝わったが、中国当局による景気支援策への期待、中国の対米追加関税の引き下げといった好材料に支えられ、6日には1週間ぶりに節目の27000ポイント台を回復した。本土市場では上海総合指数が週間で3.4%安と3週続落。新型肺炎の感染拡大を嫌気して週初は7.7%安と大きく売り込まれたが、その後は7日まで4日続伸と持ち直す展開となった。

### 今週の展望: 香港市場は一進一退の展開か、中国の景気支援策への期待が下支え

香港市場は一進一退の展開か。中国の工場が操業を再開することで新型肺炎の感染拡大への警戒感がくすぶる一方、経済活動の再開で景気悪化への警戒感が和らぐほか、中国政府による景気支援策への期待が相場を支えそうだ。中国人民銀行幹部が先週、利下げを示唆したことも明るい材料。20日の政策金利発表を前に利下げを織り込む展開が予想される。本土市場も今週は一進一退の展開か。中国政府による景気支援策への期待が相場を支えそうだが、連休前の水準に近づく局面では戻り売りも予想される。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 石業集団 (01093)	19.42	12.25
2 中国蒙牛乳業 (02319)	31.10	7.99
3 テセント (00700)	402.40	7.88
4 中国生物製薬 (01177)	11.24	7.87
5 万洲国際 (00288)	8.04	7.77
6 吉利汽車 (00175)	13.50	7.66
7 恒安国際集団 (01044)	61.30	7.54
8 恒隆地産 (00101)	17.44	6.60
9 中国海外発展 (00688)	26.85	6.34
10 中国建設銀行 (00939)	6.32	6.22

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国旺旺 (00151)	6.42	-0.47
2 舜宇光学科技 (02382)	126.40	-0.24
3 電能実業 (00006)	56.65	0.62
4 中電控股 (00002)	81.75	0.74
5 ホンコン・チャイガス (00003)	15.14	1.20
6 香港鐵路 (00066)	44.45	1.25
7 信和置業 (00083)	10.80	1.31
8 長江和記実業 (00001)	70.30	1.44
9 ヘトロチャイ (00857)	3.50	1.45
10 長江インフラ (01038)	55.30	1.47

## ▼今週の主なイベント

- 2月11日(火)  
【米国】FRB 議長の議会証言(～12日)
- 2月14日(金)  
【中国】米中通商協議第1段階の合意発効

### ▼今週の期待材料

- ◆中国人民銀行の潘功勝副行長が7日の記者会見で最優遇貸出金利の引き下げを示唆、金融緩和への期待膨らむ
- ◆新型肺炎の感染拡大で中国政府が景気支援策を打ち出す公算、支援策への期待が相場の支援材料に
- ◆14日に米中通商交渉の第1段階の合意が発効、米中対立緩和で景気の先行き懸念が後退

### ▼今週の懸念材料

- ◆新型肺炎への警戒感がくすぶる公算、9日時点で中国本土感染者は4万171人、死者908人に拡大
- ◆中国の工場再開に警戒感、感染拡大に歯止めがかからなければさらなる封じ込め策発動も
- ◆香港の19年10-12月期GDPが2.9%減、19年通年では1.2%減で10年ぶりマイナス成長

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ BYD エレクトロニック (00285) : 子会社がマスク生産を開始、17日にも量産体制
- ☆ イオン・ストアーズ (00984) : 19年12月本決算は会計基準変更で赤字拡大の見通し
- ☆ TCL エレクトロニクス (01070) : 19年12月本決算は純利益2.2倍超の見通し
- ☆ 中国再保険 (01508) : 19年12月本決算は買収効果などで55-65%増益の見通し
- ☆ 華泰証券 (06886) : 1月の営業収益が18%増加、純利益は26%増
- ◇ 康哲薬業 (00867) : 10日に株式取引を再開、粉飾決算疑惑を全面否定
- ★ PCCW (00008) : 13日に19年12月本決算を発表、市場予想は12%減益
- ★ 越秀地産 (00123) : 1月の不動産販売額が35%減少、販売面積は37%減
- ★ ササ・インターナショナル (00178) : 春節連休期間の売上高が前年比で77%減少
- ★ アリババ集団 (09988) : 12日に19年10-12月期決算を発表、市場予想は10%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。